

# 水土里レポート

投稿月日	令和8年 1 月 26 日 (月 )
タイトル	第20回記念那須野が原ウォーク2025
水土里レポーター名	水土里ネット那須野ヶ原 星野恵美子

令和7年11月16日(日)、栃木県那須塩原市において、恒例の「那須野が原ウォーク2025」が開催されました。今年は第20回目の記念開催となります。

2017年に『世界かんがい施設遺産』に登録された那須疏水と2018年に『日本遺産』に認定された「那須野が原開拓の歴史」に触れることのできるこのウォークは、色づき始めた紅葉を眺め、開拓の歴史を感じながら約6.5kmを2時間半程かけて歩く、どなたでも参加可能な散策コースで、今年は約90名の参加がありました。

当日は好天に恵まれ、那須塩原市長の挨拶はいつものように「みんなー！那須野ヶ原は好きかーい！！」のかけ声から始まり、先人たちの水を求めての苦労や那須塩原市のパーパス「好きを、編む」についても触れ、第20回記念那須野が原ウォーク2025がスタートしました。



記念開催としまして、特別に松方別邸敷地内より解説員による説明や公園内に第20回記念用のフォトスタンドを設置するなど、特別感が味わえるウォークとなっています。

日本三大疏水の一つである『那須疏水』が滔々と流れる様を見学できるデッキ、昭和42年から国営事業により整備された、用水路の維持管理の要である那須野ヶ原総合開発水管理センター前庭の陶板に描かれた施設一覧のモニュメント、センター近くに昭和55年に完成した赤田調整池などを見学ポイントとして、解説員が丁寧に説明し、質問にも答えてくれます。

参加者からは、「大変勉強になりました」「地元なのに今まで知らなかった」などのお声もかけていただき、無事、何事もなく第20回記念那須野が原ウォーク2025を終了することができました。

今年は、リュックに熊除け鈴をつけている方が数名いらっしゃいましたが、熊が出没することなく終了できたことにほっとしました。来年も皆様のご参加をお待ちしております。



世界かんがい施設遺産

World Heritage Irrigation Structure in Japan

平成29年10月 栃木県内初!

～「那須疏水施設群」が登録～



水土里ネット

「地域の財産、みんなで守ろう! かけがえのない 潤いの水」

「地域の財産、みんなで守ろう! かけがえのない 潤いの水」

みどり

水土里ネット 那須野ヶ原